

校長室だより



令和3年12月3日

校長 齋藤 瑞穂

4・5・6年生 校内作品展 ~ 学習発表会展示の部 ~

今週から、校内の作品展は4・5・6年生のものに変わりました。みなさんはもう鑑賞しましたか？

4年生は「真夜中のひみつきち」。物語から想像をひろげ、自分だけの秘密基地を表現したそうです。物語に出てくる不思議な木を自分なりに想像し、それを中心に、それぞれが秘密基地に持ち込みたいものなどを楽しく描きこんだ作品は、「この基地で何をやるのだろう？」「わたしも行ってみたいな。」と、観ているだけでワクワク楽しい気持ちになりました。



5年生は「名前アート」。黒い部分は、自分の名前の文字で道を描いているそうですから、名札を見ずにだれの作品なのかを考えながら鑑賞するのも楽しいですよ。また、道のまわりは自分のイメージカラーをグラデーションで表現しているとか。「なるほど、〇〇さんにぴったりの色だな。」という作品もあれば、意外な色を選んでいておどろくものもあり、おもしろかったです。

6年生は「12年後のわたし」。立体作品です。12年後の自分の姿を想像して表現したそうですが、まさびっくりしたのは紙粘土で作った「自分」。ポーズも服装も顔も、一人一人の個性がよく表れています。また、場面もそれぞれ細かいところまで作り込まれていて、さすが6年生だなあと感心しました。何より、6年生が12年後の未来を明るく楽しく想像しているのがうれしかったです。そんな未来を実現させてほしいと心から願っています。



さあ、週末は舞台発表です。今までの練習の成果を思いきり発揮して、すてきな発表になりますように。

子供川柳 見つめよう 今と未来のわたしたち

十一月中に投稿された川柳を紹介しします。

小学生 コロナにまげず がんばって
いつまでも 楽しく遊ぶ ゆめみてる

二年 竹ぞえ かいか
三年 脇坂 かい

子供輝く
@TOKYO

保護者の皆様

12月になりました。高学年は学習発表会の舞台発表に向け、最後の仕上げをしているところです。一足先に始まった校内作品展は、低学年と同様に子供たちがのびのび造形活動を楽しんでいる様子が伝わってくるだけでなく、「さすが高学年！」と感心する様々な表現技巧も凝らされていて、見応えがあります。12月10日まで展示されていますので、他学年の保護者の皆様もご来校の際にはぜひご覧ください。